

令和元年度 第2回 防災委員会議事録

開催日時：令和元年9月28日（土） 14：00～17：00

開催場所：九州本部会議室

参加者：味澤泰夫・荒川直樹・池田圭一・石本俊亮・梅田和久・江口友弘・箴島秀利・
後藤進・寺田利博・中田敦也・西井康浩・南嶋佳典・持田拓児

欠席者：香月裕宣・西頼和之・久富浩明・宮本修・矢ヶ部秀美

議事内容：主な意見や決議事項等

1. 防災委員による発表会と質疑応答

講師：西井康浩氏 「沿岸域における防災の話」

- ① 高波、高潮、津波のメカニズムの違い
- ② 九州沿岸域の災害特性
- ③ 被災者を経験して思うこと（2010年奄美大島豪雨災害）
- ④ リスクマネジメントで客観視
- ⑤ 人が死なない防災を考える
- ⑥ 技術士会は何ができるか～発災前活動
 - ・津波は高比重のため、浮力も大きくなり、人や車や建物を容易に持ち上げ押し流す力がある。
 - ・被災時には、制服を着用した人（警察、消防、自衛隊など）が来てくれると安心する。
 - ・停電により携帯の電池が無くなり、充電することに苦勞した。また、充電できなければ情報を発信、取得できないため困った。
 - ・リスクマネジメントやクライシスマネジメントなど一般の人には難しい言葉がある。
 - ・大学・学会だけの講演ではもったいない。今後は一般市民向けの講演も検討したい。
 - ・出前講座などを一般の人向けに実施したら良いのではないか。
 - ・人は危険が迫っていても、各種バイアス（正常性バイアス、同調性バイアス、損失回避バイアス）により、また、リスク・ホメオスタシスや空間認識の錯覚などにより、危険から逃げない。今後は、バイアス等を解放し、逃げられる教育が必要である。
 - ・シミュレーションなどの動画を使用したい場合は、大学の先生に協力を得た方が良い。
 - ・発災時に命を守るためには、平常時から率先して避難誘導する人材を多く育てる必要がある。

2. 令和元年8月26日豪雨災害(佐賀県中心)に関する報告

- 南嶋佳典氏：佐賀国道事務所鳥栖出張所に国土交通省OBで作る九州防災エキスパ

ートとして活動した内容を詳細に報告した。

- ・九州防災エキスパート会についても報告を行った。この会は、九州で 16 地区あり、大きな国道事務所、河川事務所には活動拠点がある。主に災害時のボランティア活動として各事務所や自治体の支援などを行う。
- ・緊急時にスムーズな支援、対応を行うためには、平常時から事務所の所員と交流を図っておくことが重要である。

3. 防災委員会新メンバーの紹介（池田圭一委員・箆島秀利委員・後藤進委員）

10 分休憩

4. 前回の議事録と工程案について

- ・前回の議事録の主要な部分（4.九州本部防災委員会の活動、5.防災委員会の組織に関する事項）を確認しました。
 - ・令和元年度の防災委員会工程表（案）を委員長より説明した。
 - ・会員向けアンケート及び自治体向けアンケートを次回防災委員会（11月16日）までに作成し、令和2年2月の第4回防災委員会までに取りまとめる。
 - ・会則は令和2年2月までに作成する。
 - ・アンケートの作成に当たっては、会員向けアンケートと自治体向けアンケートの2つのグループに分かれて活動を行う。
 - ・会員向けアンケートグループ：◎石本、○持田、味澤、池田、梅田、寺田、西井、久富、矢ヶ部
 - ・自治体向けアンケートグループ：◎香月、○南嶋、荒川、箆島、後藤、中田、西頼、宮本、江口
- ※ ◎：グループ長、○：副グループ長

5. アンケートの作成

①技術士会会員向けの平常時・発災後アンケート作成

- ・会員向けアンケートグループで話し合い、作成する。
- ・会員向けアンケートにおいて、得意分野の欄は広くスペースを空け、多くのことを記載できるようにする。
- ・支援の内容、意見、アドバイス、提言だけの協力などが分かるようにアンケートを作成する。
- ・平常時の活動支援を主とし、発災後については、対応可能な方のみ回答する構成とする。

②自治体向けのアンケート作成

- ・自治体向けアンケートグループで話し合い、作成する。
- ・アンケートを作成する前に、各委員が繋がりのある自治体の首長にヒアリングしてから、自治体向けアンケートの作成を実施する方法が提案された。

6. 会則の作成

- ・防災委員会 会則(案)を示すだけで本日は議論しない。意見があれば委員長へ連絡し、委員長が整理して次回会則(案)を提示する。

7. その他報告事項等

① 第1回運営委員会の宿題に対する回答

- ・統括本部が作成している「技術士パーソナルDB」の取り扱いに関して、防災支援委員会に確認したところ、事務局に確認するという返答をいただいた。九州本部の管轄分のみ使用できるように依頼中である。
- ・発災前の活動について、「博多あん・あんリーダー会」が福岡市には存在し、佐竹本部長や石本委員が参加している。
- ・発災前の活動については、大学や各種協会、団体等も実施していることが予想されるため、各委員で調査して次回報告する。
- ・講師派遣者リストに加えたい人の推薦を各委員で依頼する。また、官公庁、研究所などで出前講座があり、気象庁では見学会もできるなど有効活用を図るべきだ。活用できる人に頼む時の依頼文を委員長の方で作成して委員へ配布する。
- ・防災委員会のメーリングリストは久富委員に作成いただき、運用を開始しました。注意事項としては、添付資料が 25MB まで、返信すると全員に配信されるので、一旦委員長へ返信する。
- ・令和元年度第1回防災委員会議事録は、九州本部の HP に既に掲載されている。今後も掲載をしていく。
- ・防災委員会の活動記録は、年度末に取りまとめて九州本部の HP に掲載をする。

② 8/17「地震による造成宅地の被災形態とその健全度評価に有効な情報提供として ～H28年熊本地震の宅地被災調査ボランティア活動を通して～」

講師：味澤泰夫委員（鹿児島県支部CPD）より概説いただいた。

- ③ 9/12 統括本部防災支援委員会に持田委員長の出席の報告があり、資料を回覧した。
- ④ 10/5～6 全国大会徳島に持田委員長、南嶋副委員長、西井委員が出席する。
- ⑤ 専団連で正式に「被災者支援制度研究会」が発足し、10/11 持田委員長が発表を行う。
- ⑥ 第3回防災委員会の発表者は後藤進委員、第4回防災委員会の発表者は箆島秀利委員を予定する。ただし、発表予定者が急遽欠席となる場合は、持田委員長が代わりに発表を行うこととする。
- ⑦ 次回の運営委員会は令和元年11月16日(土)14時～17時 技術士会会議室で行う。

以上 (R1. 10. 1、江口 友弘 記載)